

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和2年10月6日

空家等見守り管理業務協定 障がい者やシルバーの活躍に期待



空き家所有者の依頼を受け、障がい者就労支援センターやシルバー人材センターが草木の剪定や空き家の外観調査などを実施。

袋井市は、挑戦する人を応援します

2020.10.6 静岡新聞（朝刊）

「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦

空家等見守り管理業務のスタートにあたり、市内4つの「障がい者就労支援事業所」及び「袋井・森地域シルバー人材センター」との協定締結

空き家所有者からの依頼に基づき、空き家の草木の剪定や除草作業等を行うとともに、さらに空き家の外観見回り調査を実施し、市と所有者に空き家の状態を報告することで、継続的な空き家の管理促進につなげ、地域の生活環境の保全を図る。

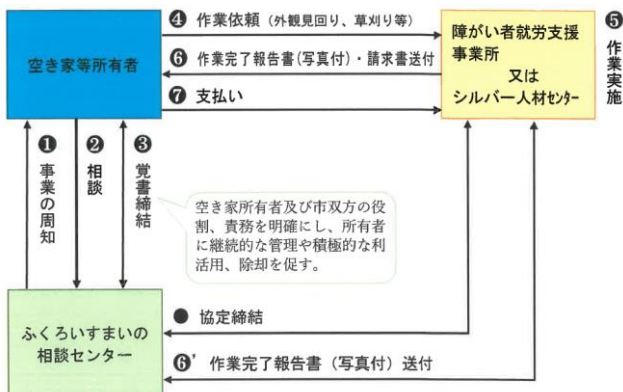
（協定締結者）

社会福祉法人なごみかぜ 理事長 大場保治（なごみかぜ工房）
 NPO法人やくわり 理事長 岡田郁太郎（ワークショップやくわり）
 社会福祉法人ひつじ 理事長 藤田安（はたらき）
 社会福祉法人明和会 ワークスつばさ 所長 萩原章治郎
 公益社団法人袋井・森地域シルバー人材センター 理事長 永田進
 袋井市長 原田英之（空家等対策協議会 会長）

袋井市と就労支援事業所など
 空家見守りで協定

袋井市は5日、空き家などの管理に伴う業務協定を同市の障がい者就労支援事業所4施設と袋井・森地域シルバー人材センターと結んだ。市が10月にスタートさせた空家等見守り管理事業の一環。

市都市計画課によると、市内には8月末現在61軒の空き家があり、今後増加が予想される。障がい者就労支援事業所と袋井・森地域シルバー人材センターの利用者が空き家の所有者からの依頼を受け、草木の剪定（せんてい）や除草作業と結んだ。市が10月にスタートさせた空家等見守り管理事業の一環。市は、市と所有者に空き家の状態を報告することで、継続的な空き家の管理促進につなげる。同市のふくろいすまいの相談センターで開かれた締結式に原田英之市長と事業所の代表者が出席し、協定書に署名した。



原田市長は「空家問題には袋井にとっても大きなテーマであり、心あざつきました。」

者らが出席。調印後、強い。健全な空き家管理のために皆さんの協力を願っています。」

空家などの管理に伴う業務協定を結ぶ締結式
＝袋井市のふくろいすまいの相談センター